



令和5年度 学校だより 12月号

なかお



第451号

令和5年11月24日

発行者 横浜市立中尾小学校

校長 廣瀬 ユミ

<https://www.educity.yokohama.lg.jp/school/es/nakao/>

「かがやきひろば」で輝く子どもたち

校長 廣瀬 ユミ

立冬も過ぎ、いよいよ冬到来と思いきや、なかなか冬らしい気候にならない今年の冬です。また、早いもので来月は12月、2023年最後の月となってしまいました。学校にとっては、これまで積み重ねてきた体験や経験を通して成長した子どもたちの姿を、保護者の皆様にお見せする時期でもあります。

明日、11月25日は授業参観の一環として行われる「かがやきひろば」があります。この取り組みは行事やお祭りではなく、一人ひとりが今まで学習してきたことの中から、1、2年生は生活科、3年生から6年生は総合的な学習の時間で学んできたことを、異学年の子どもたちや保護者に伝える場として設定した活動です。また、「かがやきひろば」は子どもたちが取り組んできた内容について学年を越えて伝え合い、伝える側と参観する側の両方を体験することによって、気づきを深め合ったり、成就感や達成感を味わったりすることも目指しています。そして、飾りつけや景品などが無い中、40分間の中で学習してきたことや考えたこと、呼びかけたいことなどを伝えたり、一緒に体験することを通して楽しい時間をと共に過ごしたりすることをととても大切にしています。

朝、正門で子どもたちを迎える時、「校長先生、リハーサルをするのでアドバイスをください。」と話しかけてくる子どもがいました。「うまくいかないのです。」と悲しげに声をかけてくる子どももいました。そんな時、私は「焦らない。焦らない。今、何に困っているのか考えてごらん。困っていることをしっかりまとめてみんなに伝えてごらん。そうすれば、必ず、誰かが答えてくれますよ。」と伝えました。中尾小の子どもたちは、困っている人をそのままにせず、今もっている知恵を優しく伝えることができることを私は知っているからです。その後、「困っている時は、みんなに聞いてみればよい。」ということに気づき、安心して活動に取り組んでいました。

子どもたちはこれまで、うまくいなくて悩んだり、焦ったりといろいろな経験をしてきました。それでも見に来てくださる方々にかがやく姿を見せたいという思いをもって担任や担当の先生と共に粘り強く活動を進めてきました。「かがやきひろば」という名前を付けた今回の授業参観は、参観者から意見をいただいたり、感想交流したりすることで子どもたち一人ひとりが高め合うことができ、本校の学校目標である「なかよく かがやいて おたがいに高めあう子」の育成につながると私は考えています。たくさんの方々の困難を乗り越えてきた子どもたちは、きっと見に来てくださる方々の心に残る「輝き」を見せてくれると思います。そして、子どもたち一人ひとりが、自分の伝えたいことを丁寧に相手に伝えることやたくさんの方々と交流することの大切さに気づき、さらに成長することを楽しみにしています。

卯年もあと一か月。本学校だよりも今年最後の号となりました。今年も保護者や地域の皆様の支え、見守り隊の方やバタフライガーデンの皆様、図書ボランティアの方々などのご協力のおかげで教育活動を行うことができました。本当にありがとうございました。

来年もどうぞよろしくお願いいたします。そして皆様にとって素敵な一年の始まりとなりますように。